

ほけんたいよう7月*

太陽の子保育園 2025年7月号

題字と手書きのイラストは、らいおん組さんにかいてもらいました。



楽しいプール遊び♪



プール遊びは、全身で水の感触を楽しめ、気持ちを解放出来ます。また、水の刺激で温度に対する抵抗力をつけ、皮膚を丈夫にし、自律神経の働きを活発にします。また、血液循環をよくし、心臓や肺の機能を高めるなど丈夫な身体を作ります。

一方で、プール游泳は、水の抵抗により体力を消耗します。また、体が冷えることから、体温を維持するためにエネルギーを使うので、免疫力が低下した状態となります。体調の悪いときは、プールを見合わせることも大切です。

とびひ

とびひのある時は、プールには入れません。

感染経路は、接触感染であり、プールの水を介しては感染しません。ただし、病変部が水でふやけて掻き壊しがとんだい、接触してうつることがあります。また、水中で皮膚がふやけることは、とびひの悪化につながります。

水いぼ

プールに入るときは、病変部を絆創膏などで覆ってください。

水いぼの感染経路は接触感染です。プール水ではうつりません。水いぼの数が多く、覆いきれないときは、薄いシャツやズボンをはいて入ります。その場合は、用意をお願いします。

らいおん組さん保健指導 歯！

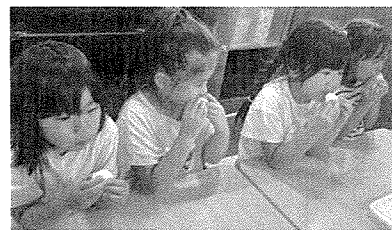
歯の模型を使って、生える順番や生え変わりを学んだい、前歯・犬歯・奥歯それぞれの役割を考えながら食べたいと、子どもたちは歯の大切さを実感できたようです。子どもたちの「歯」への興味がぐんと深まりました！



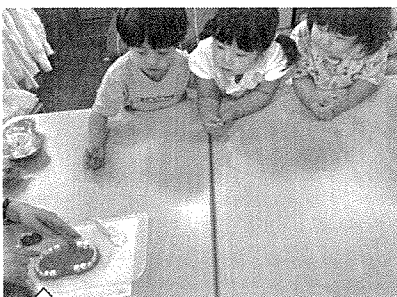
前歯がはえてくると、歯茎や舌で、イチゴは食べられるね



赤ちゃん用のおせんべいは、ツバで溶けるね

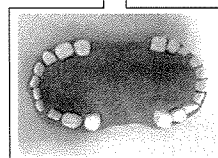
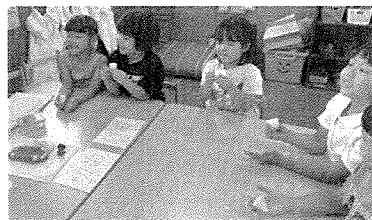


りんごは、前歯でかじり取って、奥歯でつぶしてるね

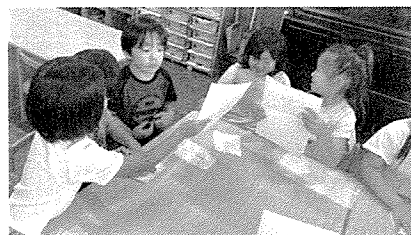
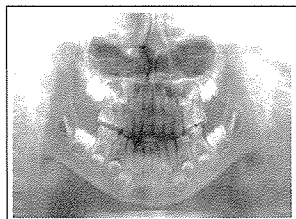


子どもの歯何本ある？

みんなで数えよう
1, 2, 3, 4, ...



干し芋は、まず犬歯で挟んで切り裂く。そのあと、奥歯でカミカミ。そうやって食べてるー！



6歳の子のレントゲン写真
子どもの歯の下に、大人の歯がある！
びっくり！！

子どもの力を引き出す声かけとは？

0・1・2歳児への声かけ

子どもとの愛着関係を築き、社会性や言葉を育てていくためにも、赤ちゃんのときからの声かけは大事です。「おむつ替えようね」「おててふこうね」など、何かする

ときには必ず声をかけること、「いいね」「楽しいね」など、子どもの思いを言葉にしていけることがとても大切です。

行動の前に必ずひと言

「〇〇ちゃん、お着替えしようね」など、名前を呼んで、次の行動を知らせる。

子どもの気持ちを言葉に

「〇〇でうれしいね」「〇〇で悲しいね」など、子どもの気持ちに共感して、それを言葉に。

ポジティブな声かけを

「ダメ」「危ない」と言われ続けると、自発的な行動ができなくなってしまうことも。「登っちゃダメ」ではなく、「降りてきて」と伝える。

子ども自身が考えられるように

「こうしなさい」ではなく、「どっちがいい？」「これは、どうかな？」と、子どもに考えさせるのも大事。

